

有栖川宮記念公園内古墳(港区)

ここは有栖川宮記念公園



付近にはこんな標柱が立っていた



ここから入って行く



有栖川宮記念公園の由来と特色

この地は江戸時代旧盛岡藩主南部美濃守の下屋敷でありましたが、明治29年(1896)有栖川宮御用地となり、更に大正2年(1913)高松宮御用地となりました。その後児童の自然教育および健康に格別の関心をもたれた高松宮殿下が昭和9年(1934)1月5日故有栖川宮威仁親王の御命日にちなんで御用地約11,000坪(36,325㎡)を公園地として賜与され、当時の東京市は直ちに工事を進め同年11月17日有栖川宮記念公園と命名し開園したものです。

本園は都心にまれな閑雅な地であり丘陵より溪谷を下り、池畔に至る地形の変化とうっそうとした樹木は日本古来の林泉式の修景により、高雅な自然趣味の庭園となっております。また梅やはなみずき、すいれん、などを初めとして四季おりおりの花も多く、秋にはカエデやモミジの紅葉も楽しむことができます。

なお園内丘上の広場には本園にゆかりの深い故有栖川宮熾仁親王の銅像があり、またこの銅像の北東部一帯(都立中央図書館および港区立麻布運動場等)31,235㎡が昭和48年(1973)4月1日本園に編入され本園の総面積は67,560㎡となりました。

東京都港区

港区立 有栖川宮記念公園 案内図
Arisugawanomiya Memorial Park Information

有栖川宮記念公園の歴史と特徴

この地は江戸時代、御所御園を御楽亭を中心として、明治9年(1876)に有栖川宮徳和親王が、宮内大臣として再びこの地に高松宮御所となりました。その後、次第の自然発生的な発展を経て、明治44年(1911)に高松宮御所が、昭和4年(1929)1月5日、有栖川宮記念公園の御園として正式に開園しました。昭和9年(1934)1月5日、有栖川宮記念公園の御園として正式に開園しました。昭和11年(1936)3月25日、有栖川宮記念公園の御園として正式に開園しました。昭和17年(1942)1月17日、有栖川宮記念公園の御園として正式に開園しました。

本園は御園に由来する御園であり、公園から見る下り坂に立ち並ぶ地蔵堂、ラッセルウエッジなど日本土産の林業式の庭園により、美観に自然美の風景となっております。またカサネツツシ、ハナズメなどまばらに咲いて四季折々の花も多く、林にはウツクスミドリなどの鳥もあふれています。

また、園内の広場にはまなこにゆかりの深い有栖川宮徳和親王の御所跡があります。また、園内には有栖川宮徳和親王の御所跡があります。また、園内には有栖川宮徳和親王の御所跡があります。

Open and Special Features of Arisugawanomiya Memorial Park

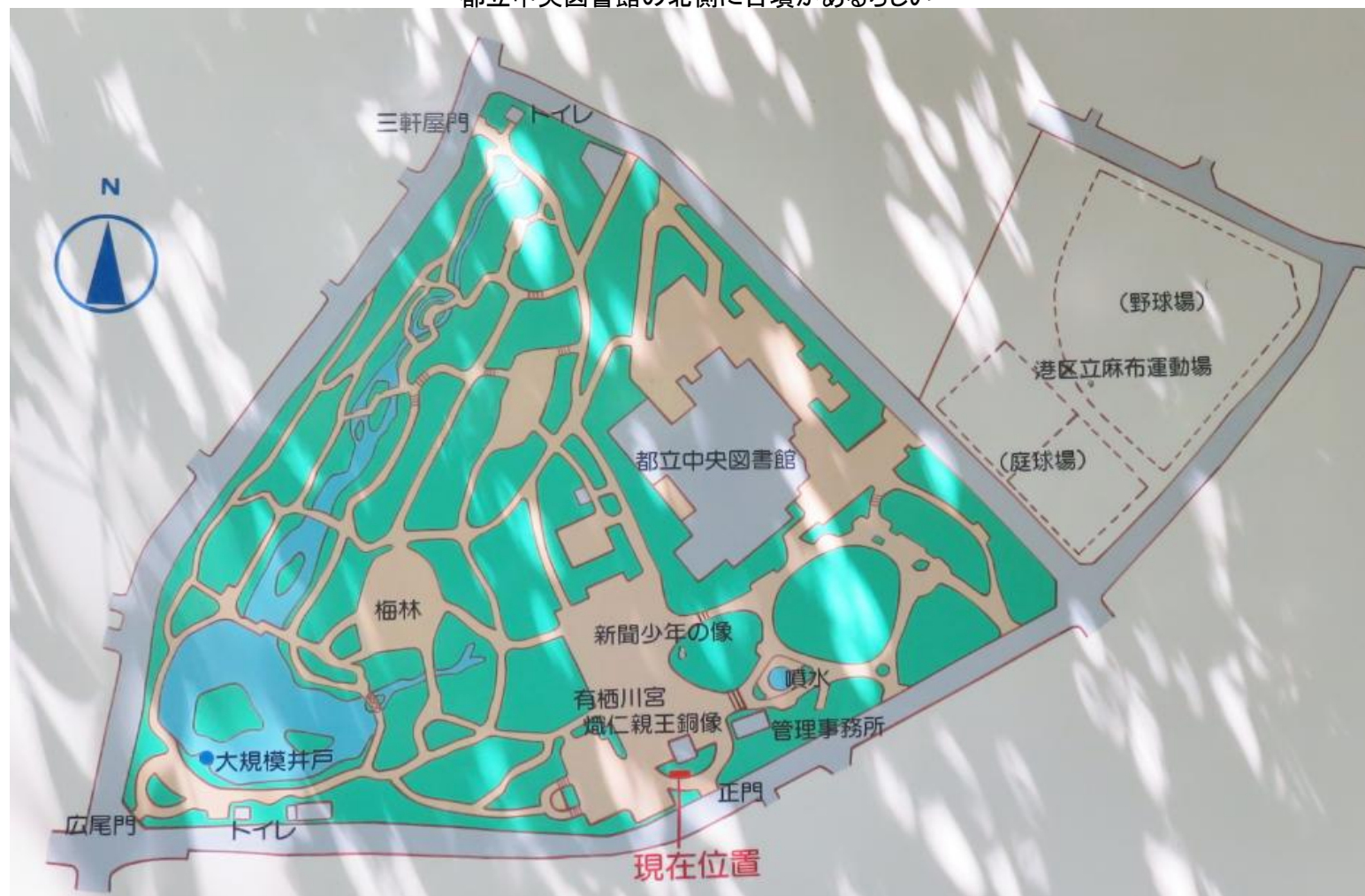
The land was the site of the Tokyo-area estates of Ninbu Minonokami, samurai lord of the former Tokugawa Daimyo from the Edo Period (1603-1867) and 1896, so that year the land went to Arisugawanomiya, one of the Imperial Family, and then in 1913 it was passed on to the Takamatsu-no-miya line. Out of a great personal interest in promoting children's health and education about nature, His Imperial Highness Prince Takamatsu (nobunshi) (1905-1987) donated 36,329m² (approximately 9 acres) of land for use as a park on January 5, 1934, the anniversary of the death of Prince Arisugawa Taruhito (1892-1913). The city of Tokyo immediately began construction and the Arisugawanomiya Memorial Park was opened on November 17, 1934. The park's cascading hills and valleys, ponds, and diverse wooded areas have been arranged in harmony with the natural terrain according to the traditional Japanese design style of landscaping, expressing an elegant natural beauty and creating a tranquil setting rarely found in central Tokyo. The park is also home to numerous seasonal flowers such as plum and cherry blossoms, flowering dogwood, and water lilies, and the different varieties of maple tree offer a beautiful display when their leaves change colors in autumn. In addition, a statue of Prince Arisugawa Taruhito (1835-1895) sits in an open space on top of a hill, commemorating the connection between the park and the Arisugawanomiya family. After having expanded to include the Azabu Baseball Field and tennis courts, the park's total area is currently 87,131m² (approximately 18.5 acres).



ヘビークリ、草子も、右の方へ
公園内は遊歩道が敷かれています。
貴重樹木園へ行く方は、公園の外の歩道をご利用下さい。

港区
MARICHI

都立中央図書館の北側に古墳があるらしい





麻布地区旧町名由来板

麻布の地名と 麻布山麓町

地名の起源には種々の説がありますが、もと山麓とか、平野とか、古野とかいろいろ
いわれていますが定かではありません。麻布の古名は「またがる島地」あるいは「尾
島」と呼ばれ、江戸時代の初期の幕末期であったことと推察されます。しかし、天保年間（1830
～1860）頃まで、今の麻布の町界を境とする人口の増加に伴って町界が広がっており、
それ以外のところは供養地と地帯が平らな川に変わっていました。天保9年（1738）
に町奉行の支配となり麻布山麓町となりました。

麻布の地名と 麻布山麓町

新橋を築いてきた江戸町が、芝浦を築いた部分の発展であり、麻布山麓町は、
芝浦と麻布山麓町が合併して麻布山麓町となりました。芝浦は、東の東と西の
二方が麻布山麓町に合併して麻布山麓町となりました。

麻布の地名と 麻布山麓町

天保10年（1839）～1704（1834）にかけて麻布町と呼ばれておりましたが、
合併して麻布山麓町となり、西に芝浦町や東に麻布山麓町を合併して麻布山麓町とな
りました。その合併前は「麻布山麓」と呼ばれていたとされています。
麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしまっ
てしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしまっ
てしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしまっ
てしまっています。

麻布山麓町の 麻布山麓町

麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。

麻布山麓町
天保10年（1839）～1704（1834）にかけて麻布町と呼ばれておりましたが、
合併して麻布山麓町となり、西に芝浦町や東に麻布山麓町を合併して麻布山麓町とな
りました。その合併前は「麻布山麓」と呼ばれていたとされています。
麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。

麻布山麓町の町界と 麻布山麓町

天保10年（1839）～1704（1834）にかけて麻布町と呼ばれておりましたが、
合併して麻布山麓町となり、西に芝浦町や東に麻布山麓町を合併して麻布山麓町とな
りました。その合併前は「麻布山麓」と呼ばれていたとされています。
麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。

麻布山麓町の町界と 麻布山麓町

天保10年（1839）～1704（1834）にかけて麻布町と呼ばれておりましたが、
合併して麻布山麓町となり、西に芝浦町や東に麻布山麓町を合併して麻布山麓町とな
りました。その合併前は「麻布山麓」と呼ばれていたとされています。
麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。

麻布山麓町の町界と 麻布山麓町

天保10年（1839）～1704（1834）にかけて麻布町と呼ばれておりましたが、
合併して麻布山麓町となり、西に芝浦町や東に麻布山麓町を合併して麻布山麓町とな
りました。その合併前は「麻布山麓」と呼ばれていたとされています。
麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。

麻布山麓町の町界と 麻布山麓町

天保10年（1839）～1704（1834）にかけて麻布町と呼ばれておりましたが、
合併して麻布山麓町となり、西に芝浦町や東に麻布山麓町を合併して麻布山麓町とな
りました。その合併前は「麻布山麓」と呼ばれていたとされています。
麻布山麓町は、麻布山麓町の町界が、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。麻布山麓町の町界は、麻布山麓町の町界とほぼ一致してしま
ってしまっています。



こんな銅像も



ありすがわたるひとしんのう

有栖川熾仁親王の銅像

有栖川熾仁親王(1835~1895)は有栖川宮家九代目の親王で、明治維新、西南の役、日清戦役ですぐれた勲功をたてられました。その間、福岡藩知事や元老院議長、左大臣、近衛都督、参謀総長などを歴任され、明治28年(1895)1月に亡くなりました。

この銅像は大熊氏広作で明治時代の代表的作品の一つとして極めて価値の高い芸術品です。明治36年(1903)10月10日千代田区三宅坂旧参謀本部構内に建立したものを、昭和37年(1962)3月1日道路拡幅事業の際、ゆかりの深いこの公園に移設しました。

さて、ここが都立中央図書館の北側で、前方のマウンドが古墳のようだ/南側から見たところ



東側から見たところ



北側から見たところ/この有栖川宮記念公園内古墳は前方後円墳かともされ、そうだとすると左手前(後円部か)から右奥(前方部か)へにかけての墳丘のようにも見えなくもない



東側のマウンドには巨石が転がっているが、これは石室材の名残なのか



右手(西方向)を見たところ



これは西側のマウンドらしき部分



西側から東方向を見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/t_23_arisu/

<http://gogohiderin.blog.fc2.com/blog-entry-590.html>

<http://gogohiderin.blog.fc2.com/blog-entry-591.html>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2015/05/22/190000>

